

国登録 登録有形文化財

豊後水道海事博物館(旧水ノ子島灯台吏員退息所)



旧水ノ子灯台吏員退息所は明治36年(1903)12月20日に完成した。レンガ造り平屋建てで、5,237円をかけて建設され、逓信省の管轄下にあったので、軒瓦の全てに「〒」のマークが付けられており、当時としては大変しゃれた洋風建築であった。内部は5世帯の住居に区画され、南面に切妻造の便所棟が付属する。アーチ型の天窗を開く切妻造の玄関や上げ下げ窓が外観を特徴づける。昭和58年(1983)に旧鶴見町に払い下げられ、近年の改修で海事博物館(現「水の子島海事資料館」として再生された。当時の長屋建の部屋をリメイクし、灯台の貴重な資料、昔の漁具や海の生活を知る資料が展示されている。